

## 2021 年度第 1 回八大学工学部長会議 議事録（案）

日 時：2021 年 4 月 23 日（金）9:50～12:00

場 所：オンライン

出席者：（東北大）長坂徹也副学長、（北大）瀬戸口剛工学部長、（東北大）湯上浩雄工学部長、（東大）染谷隆夫工学部長、（東工大）植松友彦工学部長、（名大）宮崎誠一工学部長、（京大）榎木哲夫工学部長、（阪大）馬場口登工学部長、（阪大）和田成生基礎工学部長、（九大）園田佳臣、（東工大）竹内徹監事

陪席者：（北大・工学系事務部）佐々木博之事務部長、松橋和哉総務課長、（東北大・工学部）阿部昭事務部長、（東大・工学系・情報理工学系等事務部）櫻井明事務部長、星勝信総務課長、（東大・大学院新領域創成科学研究科）眞鍋浩二事務長、古川義孝副事務長、鈴木俊祐係長、（東工大・学院等事務部）平井陽子事務部長、（名大・工学部）市川真康事務部長、松原聖子総務課長、都築照教務課長、（京大・桂地区（工学研究科）事務部）梶村正治事務部長、野田航多総務課長、幣真由美教務課長、（阪大・工学部）池本忠雄事務部長、服部圭一総務課長、（阪大・基礎工学部）多田浩基事務長、（九大・工学部等事務部）住田憲紀事務部長、山下和成総務課長

事務局：横野泰之事務局長、石原直アドバイザー、安尾千恵子事務局員

### 議 題

#### 1. メンバー紹介

#### 2. 報告事項

- (1) 前々回(第 12 回工学部長会議)議事録確認
- (2) 運営委員会活動報告
- (3) 前回(工学部長 Web 会議)議事録確認
- (4) 第 3 回公開シンポジウム開催報告

#### 3. 協議事項

- (5) 博士フォーラム実施報告と今年度の進め方について
- (6) 就職問題への対応と今年度の進め方について
- (7) ニューノーマル時代の工学教育の進め方について
- (8) 八大学からのメッセージ発信の進め方について

#### 4. その他

- (9) トルコ・日本科学技術大学について
- (10)パンフレットの改訂について
- (11)今後の予定について

## 配布資料

- 資料 0 第 13 回八大学工学部長会議 出席者名簿
- 資料 1 第 12 回(通算第 18 回)八大学工学部長会議 議事録
- 資料 2 2020 年度 第 2 回運営委員会 議事録 (案)
- 資料 3 工学部長 Web 会議(12/23) 議事録 (案)
- 資料 4 第 3 回公開シンポジウム実施報告
- 資料 5 2020 年度 博士フォーラム実施報告書
- 資料 6 八大学工学系大学院における就職活動の現状と課題
- 資料 7 2020 年度 授業等に関するアンケート (案)
- 資料 8 八大学からのメッセージ発信について
- 資料 9 トルコ・日本科学技術大学について
- 資料 10 パンフレット改訂案
- 資料 11 八大学工学系連合会の会長校・幹事校 (改訂版)

## 開会の辞

長坂会長より、2021 年度第 1 回八大学工学部長会議の開会宣言があった。続いて午後の定時社員総会で会長が交代することに伴い、本会議の議長に次期会長の植松工学院院长が指名された。

## 会議日程及び資料

事務局より、本日の今後の会議日程と配布資料について説明があった。

## 議事要旨

### 1. メンバー紹介

議事に先立ち、資料 0 に基づき、出席者全員の自己紹介が行われた。

### 2. 報告事項

#### (1) 前々回(第 12 回工学部長会議)議事録確認

事務局より、資料 1 に基づき 2020 年 9 月 25 日にオンライン開催した第 12 回八大学工学部長会議の議事録確認が行われた。

#### (2) 運営委員会活動報告

事務局より、資料 2 に基づき 2020 年 12 月 8 日に 2020 年度第 2 回運営委員会がオンライン会議で開催され、3 つの分科会活動 (博士フォーラム、就職活動の実態調査、新しい工学教育の調査) の検討・実施結果について審議が行われたことが報告された。植松議長より、特に就職活動に関するアンケート調査については、引き続き実施していくことの意義につ

いてコメントがあった。

### (3) 前回(工学部長 Web 会議)議事録確認

事務局より、資料 3 に基づき 2020 年 12 月 23 日に工学部長 Web 会議がオンライン開催され、博士フォーラムの実施報告、就職活動アンケート調査、企業ヒアリング、インターンシップのあり方検討の結果を受けてこれら事業の進め方が議論されたことが報告された。また植松議長より、議事内容を補足するコメントがあった。

### (4) 第 3 回公開シンポジウム開催報告

事務局より、資料 4 に基づき 2021 年 3 月 15 日に開催した第 3 回八大学工学系連合会公開シンポジウムの開催報告があった。今回は Web 会議で実施されたこともあり、2019 年 11 月 27 日開催の第 2 回よりも参加者数が増えたこと等の説明があった。また植松議長から参加者数と本シンポジウムの開催意義についてコメントがあった。

## 3. 協議事項

### (5) 博士フォーラム実施報告と今年度の進め方について

2020 度幹事校の東京工業大学植松工学院院长より、資料 5 に基づき 2020 年 12 月 11 日に開催された 2020 年博士フォーラムの実施報告があり、以下の質疑応答あった。

- ・本年度は、文科省企画のジョブ型インターンシップの活用を考えているため、参加した博士学生の体験談が、他の学生にも還元されるような試みを検討頂きたい。
- ・博士学生の主流となるインターンシップとなり得るため、八大学としても話題として取り上げ、発信していきたい。

その後、植松工学部長より本年度の幹事校（北海道大学）の紹介があった。

### (6) 就職問題への対応と今年度の進め方について

長坂会長より、資料 6 に基づき八大学工学系大学院における就職活動の現状と課題における八大学工学系に在籍する大学院生（修士）を対象に実施したアンケート結果について、以下のとおり要旨の説明があった。

- ・本アンケートは 2 回目となるが、カバー率も 3 割程度に上がり、学生が就活についてどう考え行動したかを定量的に示す説得力ある実態データが取れたと考えられる。
- ・設問は継続性を確保するため 1 回目と大きく変えていない。Covid-19 の影響がどう出るかに注目したが、今回の結果は、学生の就活時期が Covid-19 の影響が本格化する前であったことから現在就活を行っている学生とは異なる傾向を示している可能性がある。
- ・アンケート結果について、就活に費やした時間、インターンシップへの参加回数、インターンシップと就職先との関係、選考開始・内々定の時期及び八大学からのメッセージについて説明があり、今年度の実施で Covid-19 の影響がどのように出るか、インターンシッ

プと就職先との関係などについて注視していきたいため、今年度も是非継続実施して頂きたいとの要請があった。

これらを受けて、以下の質疑応答が行われた。

- ・先日の文科省のジョブ型インターンシップの説明会へ参加された方がいれば、情報提供頂きたい。
- ・文科省の説明によると、今年度は試行で、次年度から単位取得も視野に入れた制度化が予定されている。雇用条件を決めるマッチング機構が確定次第、公募が開始される。博士の方は、直接雇用型より共同研究型の方が主流となる予定である。特別研究員等の身分を持つ学生、留学生も参加可能である。
- ・マッチング機構を担う人材は現在公募中である。
- ・博士対象の直接雇用型の試行期間が10月～12月に予定されており、そこでの体験談を次回の博士フォーラムに載せられるよう日程調整を検討頂きたい。
- ・博士フォーラムは例年11月から12月に開催しているため、今年度は難しいかもしれない。
- ・インターンシップ先企業への就職の意思決定の参考になったかどうかのデータが欲しいので、設問の工夫を検討したい。
- ・博士フェローシップの方が生活費の支援がある点で学生にとっては魅力的と思われるが、ジョブ型インターンシップとの棲み分けがどうなるのか、情報があれば頂きたい。
- ・文科省の説明会でも同様の質問が出され、学生への支給重複という点では問題無いとのこと、両方の制度を上手に組み合わせる形が学生には望ましいと考えられる。
- ・博士フェローシップは、より充実した制度となるよう八大学として国へ声を上げていくことが重要である。
- ・博士の経済的支援は八大学の重要なミッションであることを共有したい。
- ・就活問題は、分野・業界ごとの分析も行って頂けると有難い。

本件については、今回出された意見等を基にして運営委員会において今年度の対応と進め方について議論していくこととした。

#### **(7) ニューノーマル時代の工学教育の進め方について**

長坂会長より、資料7に基づき2020年度授業等に関するアンケート(案)について調査項目検討状況の説明があり、情報共有が出来て問題解決に繋がるようなアンケートにつなげていきたいとの要望があった。本案件については、今後も中身の検討を行い、Covid-19の状況を見ながら実施時期を見計らっていくこととした。

#### **(8) 八大学からのメッセージ発信の進め方について**

長坂会長より、資料8に基づき、八大学のメッセージの発信方法について、本件は八大学の最も重要なミッションであること、提言以下各種発信の方法、発信実績について説明があり、これらの手段の活用を念頭に今年度も活動頂きたい旨の要請があった。これを受けて、

今年度の企画の提案等についての質疑応答が行われた。

- ・博士の経済支援、若手の教員サポートについて。これまでの議論では、親の平均年齢が高くなっている事情もあり、経済支援は国の施策として必須の状況である。
- ・学生アンケートは、学生目線で事態がどう映っているか、特に授業形態の変化に学生が追い付いているのか等の視点での調査も必要である。
- ・本学での昨年の夏の調査結果では、学部2年生はオンラインを希望、1年生は対面必須と両極端に分かれた。学生目線での調査の必要性について運営委員会でも議論して行く。
- ・入試について、特に留学生や大学院入試を各大学ではどのように実施したかの情報共有。
- ・博士フェローシップは分野を指定している点が気になる。多様性を維持するという意味では分野をもう少し広げていく努力が必要と考える。
- ・授業目的公衆送信補償金制度の著作権を管理する協会が、今後どういう形でお金を取り、どういう条件のもとで配信していくのか、実際授業を行っていく中で改善を提言していくことも考えられる。
- ・博士フェローシップを受けられなかった学生に対し、文科省がジョブ型インターンシップを強要しないか危惧している。
- ・授業のオンライン化を考えていく中で、博士課程だけでなく修士課程の学生のサポートも考えていく必要がある。
- ・留学が制限され、海外からも入国出来ない中で、海外留学の疑似体験をどこまで追求出来るのか（Physicalな制限をDigitalで代替）、長期的に見ると重要な課題といえる。
- ・今後出入国が出来るようになった場合、アカデミアにおける学術的な交流を国としても重視頂きたい旨を八大学から早期に伝えていくことで、ビザ発給手続きの迅速化等優先的な対応が期待される。
- ・ジョブ型インターンシップは、大学からの要望か企業からの要望か。恐らく大学としての理想形は無いので、選択肢の一つとして捉えて行きたい。
- ・経団連からの働きかけで文科省が提案、策定したという経緯から大学から出された要望に基づいた施策ではない。
- ・工学系における女性研究者の育成について議論したい。
- ・本学では留学生における女性の割合が1割未満の状況が続いている。高校生への工学分野の魅力のPR活動が必要と考える。
- ・日本工学アカデミーでも議論している話題なので、ここと手を組むことも重要と考える。
- ・高校での進学指導において、工学で女性がどれだけ活躍出来るかというアピールが不十分だと感じている。八大学として何かアクションを起こせないか。
- ・影響力のある八大学が、こういうジェンダーの問題についても真剣に取り組んでいることを発信するだけでも意義がある。優先度を高く取り組んでいきたい。
- ・日本女性の会も連携していきたい。

#### 4. その他

##### (9) トルコ・日本科学技術大学について

長坂会長より、資料 9 に基づきこれまでも情報提供を行ってきたトルコ・日本科学技術大学との協力関係について、現状の報告と八大学としても協力していくことの意義等について説明があった。本件は、アドバイザーを務めている東大・関村先生、東工大・佐藤勲先生、文科省・大臣官房・国際課と連絡を取りながら引き続き検討を進めていくこととした。

##### (10)パンフレットの改訂について

事務局より、資料 10 に基づき、現在改訂中の八大学工学系連合会のパンフレットについて、八大学からのメッセージや高度工学教育に八大学が占める位置の表現などの刷新を進めており、各大学からの意見も反映させたいので要望等がある場合は事務局へ伝えることとした。なお、発行の時期については、相応の出来栄えになった時点を考えている。

##### (11)今後の予定について

植松議長より、資料 11 に基づき、八大学工学系連合会の会長校・幹事校（改訂版）について説明があった。続いて、次回秋の常設会議の幹事校の紹介があり、東北大学の湯上工学部長より 9 月 17 日（金）にメトロポリタン仙台で開催との案内が行われ、対面での実施の可否については、今後の状況を見て改めて周知する予定である旨説明があった。

事務局より、今後の会議の開催日程について説明があり、今年度の理事会・工学長会議については、定時社員総会に諮る議題を事前に確定させておく等を理由に 2022 年の 2 月か 3 月に開催を検討している等の説明があった。

植松議長より、2 月、3 月で不都合な週の有無について照会があり、曜日の指定は無いこと、一部大学は火曜日が不都合であることが確認されたが、改めて日程照会を行い、日時を決定することとした。

事務局より、本会議の資料には参考資料 6-1～6-3 を付けていることの補足と午後の会議日程について説明があった。

事務局より、この 4 月で八大学工学系連合会の事務局長が交代したことの説明があり、新旧事務局長の挨拶が行われた。

植松議長より、以上をもって、2021 年度第 1 回八大学工学部長会議を閉会することの宣言があった。

以上